

## 但馬のフン虫追加記録

足立義弘

但馬地方のフン虫については、高橋（1981）と谷角（1982）が報告している。筆者はその後、これらの報告の未記録種、または新産地と思われるものを得ているので報告しておきたい。このうちナガスネエンマコガネとヌバタママグソコガネは、2人の報告にはないものである。また、竹野町和田の本庄氏の飼っておられるヤギのフンから、コマグソコガネ・ヌバタママグソコガネ・ウスイロマグソコガネの3種が得られた。但馬では、フン虫の多くが牛フンから得られるため、ヤギのフンからの記録は貴重なものであろう。但馬地方は但馬牛の産地として知られており、フン虫を調べるフィールドにめぐまれている。今後とも調査を継続したい。

1. *Caccobius brevis* ヒメエンマコガネ  
村岡町耀山（1983-VII-12, 2exs., 牛フン）
2. *Onthophagus ohbayashii* ナガスネエンマコガネ  
温泉町畠ヶ平（1987-VIII-22, 1ex., 灯火）
3. *Aphodius urostigma* フチケマグソコガネ  
温泉町小ヅッコ（1985-VII-25, 1ex., 牛フン）
4. *Aphodius pusillus* コマグソコガネ  
竹野町和田（1985-V-1, 14exs., ヤギフン）
5. *Aphodius breviusculus* ヌバタママグソコガネ  
村岡町祖岡（1981-V-1, 6exs., 牛フン）  
竹野町和田（1985-V-1, 1ex., ヤギフン）
6. *Aphodius sordidus* ヨツボシマグソコガネ  
温泉町小ヅッコ（1984-VII-14, 1ex., 灯火）
7. *Aphodius sobrimbatus* ウスイロマグソコガネ  
竹野町和田（1985-V-1, 1ex., ヤギフン）  
温泉町小ヅッコ（1985-VII-25, 1ex., ）

### 参考文献

- 越智輝雄・益本仁雄（1985）原色日本甲虫図鑑（II），保育社。  
大和昆虫愛好会（1966）大和の昆虫3,4 粪虫特集号。  
高橋 匡（1981）但馬地方昆虫目録（予報第6報），IRATSUME 5:59-67.  
谷角素彦（1982）但馬地方のフン虫 1981年の記録から，IRATSUME 6:30-35.

## 円山川河原で オオフタホシマグソコガネに再会

上田尚志

かつて円山川の河原には牛が放牧されており、いたるところに牛糞が落ちていた。筆者が高校生の頃、円山大橋付近の河原で糞虫採集をした記憶がある。当時の野帳を探し出してみると、「1969.10.5, 円山大橋付近, オオフタホシマグソコガネ・カドマルエンマコガネ」と記録がある。このときの標本は、豊岡高校の火災で焼失てしまっている。

ところで、高橋（1981）のリストにはオオフタホシマグソコガネ *Aphodius elegans* ではなく、その後、谷角（1982）によって関宮町葛畠の記録が報告されている。筆者は、牛糞さえあれば円山川の河原のどこかで、このオオフタホシマグソコガネが生きのびているのではないかと考えていた。

豊岡市土淵の河原に2～3頭の牛がつながれており、かねてから注目していたところ、10月初旬に多数の本種成虫を確認することができた。20年ぶりに再会できたので、報告しておきたい。

10exs.（確認多數）. 1988-X-10, 兵庫県豊岡市土淵

### 参考文献

- 高橋 匡（1981）但馬地方昆虫目録（予報第6報），IRATSUME 5:59-67.  
谷角素彦（1982）但馬地方のフン虫 1981年の記録から，IRATSUME 6:30-35.